中皮腫登録事業に係る登録シート 活用方法

1	其太情報	(※環境再生保全機構の認定給付システムのデータを活用。
1	42/11 H 11	、

1	申請番号				2	判定申出番号			
3	申請年月日	年	月	日	4	判定小委回数	第() 回
5	氏 名				6	性 別	□1:男	$\square 2$: 女
7	現 住 所								
8	生年月日	年	月	日	9	死亡年月日	年	月	日
100	申請時年齢								
10	(死亡時年齢)								

2 臨床情報 (※受診医療機関が提出した診断書等の情報を記載。)

1	発 生 部 位	□1:胸膜 □	2:腹膜 □3	:心膜 □4:精	青巣鞘膜	□5:その他()
2	確定診断日	年	月	日			
		□医療機関受診	(□1:息切れ	□2:胸痛	□3:せき	□4:発熱	□5:腹痛
3	発 見 契 機		□6:腹部膨満	□7:他疾患剂	台療中	□8:その他())
		□9:健康診断	□10:手術	□11:その他	<u>p</u> ()	
4	治療	□1:放射線照射	□2:手術	□3:化学療法	□4:BSC	□5:その他	()

3 石綿ばく露歴(※申請時のアンケートに基づき記載。環境再生保全機構の被認定者ばく露状況調査システムデータを活用。)

	ア領バノ電展	·麻	□1:職	業ばく露	□2:家庭内ばく露	□3:立入	りばく露		
1)	石綿ばく露歴		□ 4∷₹	環境ばく露・	不明→(具体的に:)
2	期	間	() 年 () 月~ () 年 () 月	(合計_	年)

4 病理所見 (組織診) (※審査分科会及び判定小委員会における議論の結果を記載。)

1	実施の有無	□1:実施 □2:不実	施 □3:その他()
2	採取部位	□1:胸膜 □2:腹膜	□3:心膜 □4:精巣鞘膜	□5:その他()
(3)	判定に用いた	組織像	□1:医療機関申請資料	□2:分科会・小委検鏡標本
	資料	免疫組織化学的染色	□1:医療機関申請資料	□2:分科会・小委検鏡標本
4	検体採取方法	□生検(□1:開胸又は □4:手術摘出 □5:病	開腹、□2:胸腔鏡又は腹腔鏡、 理解剖 □6:その他(□3:経皮針生検))
(5)	組織型	□1:上皮型 □2:肉 □5:その他の特殊型(泉維形成型)
6	総 合 判 定 (病理組織診)	<中皮腫としての確か□1:definitely not□4:probable]3:possible
7	特記事項			

環境再生保全機構に提出された申請書類をもとに、事務局が記入します。

4 病理所見(組織診)

項目中①~③については事務局で記入しますので、判定小委員会又は審査分 科会では④~⑦について言及をお願いします。

①実施の有無: 判定に用いた組織診の実施有無をチェックします。

②採取部位: 判定に用いた組織の採取部位にチェックします。

③判定に用いた資料: 判定に用いた書類等にチェックします。

▶ 診断書等の記載で判断 ⇒「1:医療機関申請資料」

➤ 組織標本で判断 ⇒「2:分科会・小委検鏡標本」 にチェックします。

④検体採取方法: 判定に用いた組織の採取方法にチェックします。

⑤組織型: 診断書の形態所見記載や HE 所見をもとに、いずれの組織型かを チェックします。

⑥総合判定: 中皮腫としての確からしさについて評価します。

▶ 中皮腫の可能性が否定できない程度 ⇒「3:possible」

▶ 中皮腫の蓋然性が高い ⇒「4:probable」

▶ 中皮腫以外の疾患は考えられない ⇒ 「5: definite」

にチェックします(書面審査でも、「脂肪織への浸潤」等の記載を もって「5: definite」と判定可能です)。

⑦特記事項: 組織診断に関して特記すべき事項があれば、記入します。

※注:病理所見に関し、組織診と細胞診の両方が提出されている場合には、 中皮腫の判定(確定診断)に用いたものについてのみ記入します。 両方共に判定に用いた場合は、いずれも記入します。

_	実施の有無	□1:実施 □2:不実施 □3:その他()
2	採取部位	□1:胸水 □2:腹水 □3:心嚢水 □4:その他(
3	判定に用いた	細 胞 像 □1:医療機関申請資料 □2:分科会・小委検鏡標本
9	資料	免疫細胞化学的染色 □1:医療機関申請資料 □2:分科会・小委検鏡標本
4	染 色 種 類	□1:パパニコロウ染色 □2:ギムザ染色 □3:その他(
5	検体の適否	□1:適正 □2:不適正(理由:
6	細 胞 診 断	□悪性中皮腫(□1:上皮型、□2:肉腫型、□3:特殊型())
7	総合判定	<中皮腫としての確からしさ>
<i>(</i>)	(細胞診)	$\square 2$: probably not $\square 3$: possible $\square 4$: probable
8	特記事項	
2	病 変 部 位	□1:胸膜 □2:腹膜 □3:心膜 □4:精巣鞘膜 □5:その他()
		□1:体腔液(胸水、腹水、心嚢水など)
	u∕s n++- / n ← n++- n ←	□2:漿膜腫瘤(□多発、□単発)
3	漿膜(胸膜、腹	□3:腫瘍性漿膜肥厚(縦隔側胸膜肥厚、不整胸膜肥厚等)
	膜等)の所見	□4:腫瘍性と診断できない漿膜肥厚
		□5:その他()
	7 0 14 0 7 1	
<u> </u>	その他の正目	□胸膜プラーク(□1:なし □2:疑い □3:有り)
4	その他の所見	□胸膜ブラーク (□1:なし □2:疑い □3:有り) □4:その他 ()
45	その他の所見画像の評価	

1)	判定根拠	□1:剖検	□2:病理組織標	票本 (手術)	□3:病理組織標本(胸	・腹腔鏡、開胸)
		□4:病理組織標	本(針生検)	□5:細胞	診 □6:他部位の生	検 ()
2	総合判定	<中皮腫として	の確からしさ	>		
4		□3:possible	□4: pr	obable	□5: definite	
3	判定組織	□1:審査分科会		2:判定小委員	会 (※実質的な審議	が行われた組織)
4	中皮腫部位	□1:胸膜	□2:腹膜	□3:心膜	□4:精巣鞘膜	□5:その他
4)		()			
5	判定困難症例	□1:判定困難症	 E例			

5 病理所見(細胞診)

項目中①~③については事務局で記入しますので、判定小委員会又は審査分科会で は④~⑧について言及をお願いします(記入法は組織診に準じる)。

なお、④その他には、「PAS 染色、Alcian blue 染色等」が該当します。

6 画像所見

項目中①及び②については事務局で記入しますので、判定小委員会又は審査分科会 では③~⑤について言及をお願いします。

①画像検査の方法: 判定に用いた画像検査すべてにチェックします。

(PET-CT、PET 等は、その他に記入します。)

②病変部位: 主な病変部位(原発部位)にチェックします。

③漿膜の所見: 主な病変部位(原発部位)に関し、確認できるすべての所見にチ

ェックします。

どの検査(画像)・部位において、当該所見が認められたかどうか

は問いません。

例:「CTで漿膜腫瘤なし」、「X-Pで漿膜腫瘤あり」でも、漿膜

腫瘤ありにチェックします。

なお、「腫瘍性漿膜肥厚(又は、漿膜腫瘤)」が認められた場合に は「腫瘍性と診断できない漿膜肥厚」へのチェックは不要です。

「 漿 膜 腫 瘤 」:比較的大型(10 mm以上が目安)の腫瘤が

非連続性に進展するものとします。

「腫瘍性漿膜肥厚」: 胸膜病変が広い範囲にわたって連続性に進

展するもの(例示↓)。

・腫瘍性肥厚に加え、当該肥厚部に(複数の)

小さな腫瘤を有するもの(症例1)

・複数の腫瘤によって、腫瘍性の肥厚を形成

するもの(症例2)

「5. その他」には播種等が該当します。

④その他の所見: 該当する口にチェックします。

⑤画像の評価: 中皮腫としての確からしさについて、評価します。

▶ 中皮腫として否定的 ⇒「2:probably not」

→ 中皮腫として矛盾しない程度 ⇒ 「3: possible」

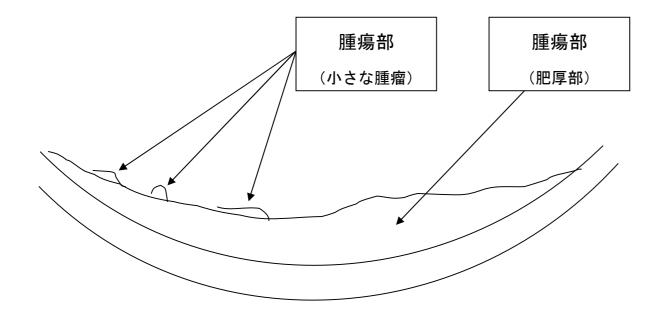
(胸水・腹水のみは、possible)

▶ 中皮腫を積極的に示唆する所見 ⇒「4:probable」

にチェックします。

環境再生保全機構に提出された申請書類をもとに、事務局が記入します。

症例1:腫瘍性の肥厚に加えて、当該肥厚部に(複数の)小さな腫瘤が認められる場合。



症例2:複数の腫瘤によって腫瘍性の肥厚を形成している場合

